



設立のきっかけは？

平成14年、市内中高生の中に問題行動があり、まちを明るくするため、有志2人がJR大竹駅前であいさつ運動を始めたのが契機です。

どんな人が参加していますか？

当初、趣旨に賛同される100人超の会員が参加していましたが、現在は40人程度です。

活動内容を聞かせてください。

大竹小のグラウンド芝生化、ビオトープ整備、通学路の巨大壁画制作、駅前でのストーンアート設置に取り組みました。さらに大竹駅前花の道でのイルミネーションは11回を数えますが、新型コロナウイルスの影響で沈むまちに元気を取り戻すため今年もぜひ行いたいと考えています。このほか3中学校にのぼり旗を各10本贈呈、玖波6丁目バス停の改修も行いました。

これまでの活動を振り返って

平成20年からは特定非営利活動法人となりました。事業を通じて

今後の活動目標は？

子どもたちや地域の笑顔や応援が活力となっています。会員の高齢化に伴い、会員を増やすことや後継者の育成が課題です。

児童生徒へのあいさつ・見守り運動をはじめ、教育環境支援や防犯啓発を通じ地域に貢献したいと思っています。大竹市PTA連合会の活動資金援助も考えています。参加を希望される方は、代表理事の田端正則さん(090・4578・2761)まで。



大竹駅前花の道でのイルミネーション

あとがき

今年も暑い夏がやってきました。5月の臨時会では、新型コロナウイルスの臨時会では、新型コロナ

ナウイルス感染症の拡大と外出自粛要請による、市民生活や地域経済の影響等を踏まえ、議員の6月期末手当の額を10%減額する条例を全会一致で可決しました。市民と痛みを共有するだけではなく、中長期的な視野に立った対策の必要性を感じています。

また、新型コロナウイルス対策だけでなく、市政全般の課題に対しても、熱い議論ができるよう、議員一人ひとりが自己の能力を高め、日ごろから研さんを積まなければいけません。

広報広聴特別委員会は新しいメンバーで約一年が過ぎ、悪戦苦闘を重ねながら、臨機応変な編集ができています。これからも議会をより身近に感じてもらえるような紙面づくりを目標とします。

広報広聴特別委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 北地 範久 |
| 副委員長 | 小田上 尚典 |
| | 藤川 和弘 |
| | 原田 孝徳 |
| | 小中 真樹雄 |
| | 中川 智之 |
| | 日域 智之 |

指し、努力してまいります。ご意見ご感想がありましたらぜひお寄せください。これから暑さはピークを迎え、残暑も厳しくなります。熱中症にならないよう、こまめな水分補給と適切にクーラーを使用し、お体にお気をつけてお過ごしください。

発行：令和2年8月1日 大竹市議会

広島県大竹市小方一丁目11-1

TEL 0827-5912183

市議会だよりは市ホームページにも掲載しています。

